

(写真・文 太田祥作)

ホオジロガモ (学名: *Bucephala clangula*)

【カモ目カモ科】



▲ どちらも成鳥で、左が雌、右が雄。雄の成鳥は少なく、あまり見る機会はない。

ホオジロガモは雄の眼と嘴の間にある白斑が目立つことから「ホオジロ」の名があるカモの一種です。寒冷地に多く、春から夏はユーラシア大陸や北米大陸の北部で過ごし、秋から冬は越冬のため日本へ飛来します。町内で見られるカモの中では少数派ですが、ダム湖などで毎冬見ることができます。

越冬地はホオジロガモにとって出逢いの場であり、そこでつがいとなった雄と雌が、夏に大陸で子育てを行います。そのため、冬の雄ガモたちはモノトーンが際立った美しい羽で身を包み、雌に求愛します。求愛の際、雄は頭を大きくのけぞらせて背中に合わせる「ヘッドスローディスプレイ」という独特の行動をとります。なお、雌や若鳥は黄色の眼や先端が橙色をした嘴などの特徴がありますが、雄に比べ地味です。



▲ ヘッドスローディスプレイの様子

生き物の気配に乏しい真冬の只見町ですが、越冬のためやってきたホオジロガモをはじめ、様々なカモたちで賑わう水辺は活気を感じさせてくれます。雪の止み間にカモの観察はいかがでしょうか。

只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンターでは、2月17日(土)に下記観察会を開催予定です。詳細は只見町ブナセンターのホームページをご覧ください。電話0241-72-8355までお問い合わせください。

自然観察会「冬のブナ林観察会」

日時：2024年2月17日(土) 13:30～15:30
集合：季の郷湯ら里 駐車場 定員：20名 (事前予約制)

また、ただみ・ブナと川のミュージアムでは下記企画展を開催中です。どうぞお越しください。

企画展アーカイブ・プラス「只見の自然を食べる！」

会期：2023年12月2日(土)～2024年4月21日(日)
場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー